
更 尽 会 第 4 回 総 会

日時 平成 17 年 7 月 16 日 (土) 14 時 ~ 15 時

場所 新宿ワシントンホテル本館「アンドロメダ」

議 事 次 第

- 1 . 開会
- 2 . 会長挨拶
- 3 . 議長選出
- 4 . 議事
 - 1) 2004 年度活動報告について [第 1 号議案]
 - 2) 2004 年度決算報告について [第 2 号議案]
 - 3) 第 3 期 (2005 ~ 2006 年度) 幹事について [第 3 号議案]
 - 4) 第 3 期 (2005 ~ 2006 年度) 会長および副会長について
 - 5) 2005 年度活動計画について [第 4 号議案]
 - 6) 2005 年度予算について [第 5 号議案]
 - 7) 2005 年度会計監査役について [第 6 号議案]
 - 8) その他
- 5 . 閉会

更尽会 2004 年度活動報告

1 . 第 3 回総会および同窓会の開催について

更尽会第 3 回総会を、平成 16 年 6 月 12 日（土）、ホテルサンガーデン日立において開催し、2003 年度の活動報告および決算、2004 年度の活動計画および予算を決議した。また、総会后、加藤始先生の特別講演および同窓会を開催した。第 3 回総会および同窓会の次第は以下のとおりである。

(1) 総会

- 2003 年度活動報告および決算について
- 第 2 期新幹事について
- 2004 年度活動計画および予算について
- 2004 年度会計監査役の選出について

(2) 特別講演

「米国留学と茨城大学への赴任 - 2 つの転機 - 」 加藤 始 先生

(3) 同窓会

総勢 59 名の出席のもと第 3 回同窓会が盛況の中開催された。

2 . 幹事会の開催について

2004 年度は合計 2 回の幹事会を開催し、更尽会会報（第 2 号）の発行に関する検討、第 3 回総会の運営、学科への貢献事業に関する検討などについて議論した。幹事会の開催日時・場所および議事内容は以下のとおりである。

(1) 第 1 0 回（2004 年度第 1 回）幹事会

開催日時：平成 16 年 5 月 15 日（土）13:00～16:10

開催場所：茨城大学都市システム工学科東棟 3F 会議室

議事内容： 2003 年度活動報告（案）および決算（案）について、 幹事の交代および新幹事について、 2004 年度活動計画（案）および予算（案）について、 2004 年度会計監査役について、 年会費納入状況および会計中間報告について、 第 3 回総会および同窓会について、 その他

(2) 第 1 1 回（2004 年度第 2 回）幹事会

開催日時：平成 16 年 9 月 25 日（土）13:10～16:15

開催場所：茨城大学都市システム工学科東棟 3F 会議室

議事内容： 第 3 回総会および同窓会の総括、 会報の発行について、 学科への貢献事業について、 年会費納入状況および会計中間報告について、 年会費の自動払込の実施について、 事務局運営について、 その他

3 . 更尽会会報（第 2 号）の発行について

更尽会会報（第 2 号）を以下のように発行した。会報の第 2 号は 2003 年度と 2004 年度の 2 年分の情報を盛り込んだものとした。

- 発行日：平成 16 年 12 月 10 日
- 発行部数：400 部（内 270 部を希望者に送付済）

4. 年会費の納入状況（2005年3月31日現在）について

2004年度年会費の納入案内を平成16年4月に実施した。また、従来の郵便振替口座および銀行口座への払い込みだけでなく、郵便振替口座への自動払込サービスも開始し、平成16年10月20日に第1回目の自動払込（15名分）を実施した。その結果、平成17年3月31日までに293件（586,000円）の年会費が納入された。なお、2004年度は年会費未納者に対する対応（働きかけ）を十分に行うことができなかったため、平均納入率をアップさせることはできなかった。

下表に各期ごとの年会費の納入状況を取り纏めた。

更尽会年会費納入状況（平成17年3月31日現在）

学科	期	卒業年度	2001年度分			2002年度分		
			人数(人)	納入件数(件)	納入率(%)	人数(人)	納入件数(件)	納入率(%)
建設工学科	1	S59	32	25	78.1	32	24	75.0
建設工学科	2	S60	29	19	65.5	29	17	58.6
建設工学科	3	S61	36	13	36.1	36	8	22.2
建設工学科	4	S62	43	21	48.8	43	24	55.8
建設工学科	5	S63	38	24	63.2	38	21	55.3
建設工学科	6	H01	41	33	80.5	41	34	82.9
建設工学科	7	H02	43	27	62.8	43	28	65.1
建設工学科	8	H03	45	19	42.2	45	20	44.4
建設工学科	9	H04	39	15	38.5	39	9	23.1
建設工学科	10	H05	42	20	47.6	42	19	45.2
都市システム工学科	1	H06	63	29	46.0	63	26	41.3
都市システム工学科	2	H07	71	16	22.5	71	13	18.3
都市システム工学科	3	H08	73	36	49.3	73	36	49.3
都市システム工学科	4	H09	71	34	47.9	71	30	42.3
都市システム工学科	5	H10	70	24	34.3	69	19	27.5
都市システム工学科	6	H11	72	17	23.6	72	15	20.8
都市システム工学科	7	H12	69	16	23.2	69	14	20.3
都市システム工学科	8	H13	-	-	-	57	14	24.6
都市システム工学科	9	H14	-	-	-	-	-	-
都市システム工学科	10	H15	-	-	-	-	-	-
その他(準会員)			-	0	-	-	1	-
合計			877	388	44.2	933	371	39.8

学科	期	卒業年度	2003年度分			2004年度分			以降分 納入件数 (件)	平均 納入率 (%)
			人数(人)	納入件数(件)	納入率(%)	人数(人)	納入件数(件)	納入率(%)		
建設工学科	1	S59	32	23	71.9	32	19	59.4	54	71.1
建設工学科	2	S60	29	13	44.8	29	8	27.6	4	49.1
建設工学科	3	S61	36	7	19.4	36	7	19.4	0	24.3
建設工学科	4	S62	43	21	48.8	43	9	20.9	8	43.6
建設工学科	5	S63	38	15	39.5	38	12	31.6	13	47.4
建設工学科	6	H01	41	29	70.7	41	20	48.8	9	70.7
建設工学科	7	H02	43	25	58.1	43	11	25.6	3	52.9
建設工学科	8	H03	45	19	42.2	45	12	26.7	9	38.9
建設工学科	9	H04	39	7	17.9	39	6	15.4	7	23.7
建設工学科	10	H05	42	14	33.3	42	11	26.2	4	38.1
都市システム工学科	1	H06	63	24	38.1	63	15	23.8	0	37.3
都市システム工学科	2	H07	71	10	14.1	71	7	9.9	0	16.2
都市システム工学科	3	H08	73	23	31.5	73	11	15.1	4	36.3
都市システム工学科	4	H09	71	29	40.8	71	14	19.7	2	37.7
都市システム工学科	5	H10	69	16	23.2	69	11	15.9	1	25.3
都市システム工学科	6	H11	72	12	16.7	72	7	9.7	0	17.7
都市システム工学科	7	H12	69	13	18.8	69	5	7.2	2	17.4
都市システム工学科	8	H13	57	10	17.5	57	6	10.5	2	17.5
都市システム工学科	9	H14	68	13	19.1	68	4	5.9	0	12.5
都市システム工学科	10	H15	-	-	-	66	4	6.1	0	6.1
その他(準会員)			-	0	-	-	0	-	0	-
合計			1,001	323	32.3	1,067	199	18.7	122	38.5

5．会員の個人 ID（会員番号）の割付について

各会員からの各種問い合わせ、年会費納入者の確認作業などを円滑に進めるために、2004 年度の年会費の納入案内から会員の個人 ID（会員番号）を割り付けた。

6．更尽会ホームページの開設について

第 4 回総会（2005 年度）の開催にあわせて、更尽会のホームページを一般公開することを決定した。ホームページの URL は以下のとおり。

<http://www.civil.ibaraki.ac.jp/koujin/>

7．学科支援活動について

学科とのつながりを一層深めるとともに、在学生に更尽会の存在をアピールするため、更尽会において在学生の就職活動等を支援する取り組みを以下のとおり実施した。

・授業科目名等

「都市システム工学特別講義」の「職場研究」（学部 3 年生の授業）

・実施内容および講師：以下のとおり

第 1 回目＜職場研究(2)公務員＞

実施日：平成 16 年 10 月 25 日

講師名：高橋学氏（H03 年度卒）、大木正典氏（H05 年度卒）

第 2 回目＜職場研究(3)建設系民間企業＞

実施日：平成 16 年 11 月 1 日

講師名：川端稔氏（H01 年度卒）、角田義紀氏（H02 年度卒）、松田節男氏（H03 年度卒）

第 3 回目＜職場研究(4)コンサル・システム・建築設計＞

実施日：平成 16 年 11 月 15 日

講師名：大谷俊夫氏（S59 年度卒）、西藤康浩氏（H05 年度卒）



特別講師（会員）による授業風景

更尽会2004年度 (2004. 4. 1~2005. 3. 31) 決算

【収入の部】

(単位:円)

科目	2004年度予算	2004年度決算	備 考
年会費	1,000,000	586,000	2,000円×293件 (2004.4.1~2005.3.31)
雑収入	5,908	7,302	同窓会残金、利息
前年度繰越金	874,092	874,092	
計	1,880,000	1,467,394	

【支出の部】

(単位:円)

科目	2004年度予算	2004年度決算	備 考
通信費	350,000	184,620	総会および幹事会開催通知、年会費納入通知、会報発送費等
備品・消耗品費	30,000	4,741	事務用品等
会費	20,000	0	会議室使用料、会議昼食代等
印刷費	450,000	304,500	会報第2号の印刷
交通費	20,000	37,680	幹事交通費、学科支援活動講師派遣費(交通費)等
総会運営費	150,000	126,055	会場設営、講師謝礼、総会関係消耗品等
雑費	50,000	21,285	年会費振込手数料、発送作業アルバイト代
予備費	810,000	0	企画準備金、弔事関係経費等
次年度繰越金	0	788,513	
計	1,880,000	1,467,394	

監査の結果、上記収支決算が適正であることを証明します。

平成 17 年 6 月 28 日

2004年度会計監査役

小田 博之



大木 正典



更尽会第 3 期 (2005 ~ 2006 年度) 幹事 (案)

卒業年度	氏 名	
昭和 59 年度	松 本 智 良	大 谷 俊 夫
昭和 60 年度	根 田 信 義	蛭 町 修 身
昭和 61 年度	野 中 伸 一	須 原 茂
昭和 62 年度	早 川 裕 史	長 山 公 信
昭和 63 年度	古 川 英 希	山 田 道 雄
平成元年度	原 田 隆 郎	濱 崎 健
平成 2 年度	宮 本 仁	平 野 有 志
平成 3 年度	高 橋 学	松 田 節 男
平成 4 年度	金 森 豪	小 林 卓 也
平成 5 年度	松 本 隆 弘	大久保 啓 一
平成 6 年度	三 瓶 大 介	金 原 和 彦
平成 7 年度	岡 崎 伸 二	庄 司 祐 一 郎
平成 8 年度	西 坂 淳	越 川 満
平成 9 年度	石 川 慎 吾	前 川 直 子
平成 10 年度	大 山 丈 吉	大 西 進
平成 11 年度	白 坂 浩 一	川 崎 努
平成 12 年度	阿 部 聡	坂 本 宏 司
平成 13 年度	鈴 木 健 司	吉 野 哲 平
平成 14 年度	鈴 木 久 美 子	吉 川 慎 太 郎
平成 15 年度	伊 藤 徹	宮 内 大 輔
平成 16 年度	鈴 木 希 美	米 川 義 幸

更尽会 2005 年度活動計画（案）

1．第 4 回総会および同窓会の開催について

第 4 回総会を以下のとおり開催し、2004 年度活動報告および決算、2005 年度活動計画および予算について決議する。また、同窓会も同時開催する。なお、これまでのアンケート等の結果から「東京都内開催」とする。

(1) 開催日時：平成 17 年 7 月 16 日（土）14:00～17:00

(2) 開催場所：新宿ワシントンホテル

(3) 開催内容：

- a) 総会 議事内容： 2004 年度活動報告および決算について
第 3 期幹事について
2005 年度活動計画および予算について
2005 年度会計監査役について 他

b) 同窓会（会員相互の交流を深める機会とし、情報交換及び親睦を図る。）

2．幹事会の開催について

2005 年度は 2 回の幹事会を予定（内 1 回は既に実施済み）しており、年会費の納入、定例総会の運営、その他定常業務の運営方法の効率化などについて議論する。幹事会の開催予定等は以下のとおりである。

(1) 第 1 2 回（2005 年度第 1 回）幹事会 <開催済み>

開催日：平成 17 年 6 月 4 日（土）

議事内容：第 4 回総会の議事内容について 他

(2) 第 1 3 回（2005 年度第 2 回）幹事会

開催予定：平成 17 年 9 月頃

議事予定：第 4 回総会の総括および年会費の納入通知発送等について 他

3．会報の発行について

2004 年度に会報第 2 号を発行したこと踏まえ、本年度は会報の代わりにニュースレター（仮称）を発行し、会員に対して情報発信する。ただし、ニュースレター（仮称）はできるだけ簡素化させ、主として更尽会のホームページを利用した情報発信を推奨する。

4．年会費の納入案内について

(1) 年会費の納入案内について

2005 年度の年会費の納入案内は平成 17 年 8 月に実施する。なお、平成 17 年 3 月 31 日現在における郵便振替口座・自動払込希望者に対しては、平成 17 年 4 月 20 日に自動払込を実施する（既に実施済み）。また、平成 17 年 4 月 1 日以降の自動払込希望者に対しては、平成 17 年 10 月 20 日に自動払込を実施する（ただし、申込みの締め切りは平成 17 年 9 月 30 日とする）。

(2) 年会費未納者に対する対応について

2004 年度は十分に対応できなかった年会費未納者に対する働きかけを実施し、平均納入率をアップさせるような取り組みを行う。特に、平均納入率の低い期に対しては、当該幹事において具体的な対策を検討し、平均納入率の向上を目指す。

5．更尽会ホームページの充実について

更尽会のホームページを充実させる。総会および同窓会の情報、会員への連絡、各種登録用紙のダウンロードサービスなどを行う。また、会員からの声を収集し、会の運営などに生かす。

6．学科支援活動および更尽会の広報活動について

2004年度に実施した在学生への就職支援活動を継続し、学科とのつながりを一層深めるとともに、卒業研究に対する報奨制度などを通して、在学生に対して更尽会の存在を更にアピールする。

7．今後の更尽会運営の検討について

これまでの更尽会の運営では、会則に基づいて各期の幹事が幹事会を構成し、各年度の活動計画や予算案、会計監査などを提案し、総会においてこれを承認してきた。しかしながら、総会を毎年開催する必要があるのかというアンケート結果や、会長及び副会長と学年幹事をすべて役員としている組織形態などの課題が、更尽会発足後の4年間で表面化しているように思われる。

そこで、更尽会の運営について、「総会や幹事会といった各会議の役割付け、役員と幹事の役割分担、更尽会の意志決定方法と監査（チェック機能）のあり方」などを総合的に検討し、会則の変更などの手段を利用して、適切な更尽会運営を実現させる方法を検討する。

更尽会2005年度(2005.4.1~2006.3.31)予算(案)

【収入の部】

(単位:円)

科目	2004年度決算	2005年度予算	備考
年会費納入	586,000	700,000	2005.4.1~2006.3.31の年会費納入
雑収入	7,302	11,487	利息など
前年度繰越金	874,092	788,513	
計	1,467,394	1,500,000	

【支出の部】

(単位:円)

科目	2004年度決算	2005年度予算	備考
通信費	184,620	250,000	総会案内通知、年会費納入通知、幹事会開催通知等
備品・消耗品費	4,741	10,000	事務用品等
会費	0	10,000	会議室使用料等
印刷費	304,500	150,000	封筒・ハガキ等の印刷
交通費	37,680	50,000	会計監査および特別講師交通費等
総会運営費	126,055	150,000	会場設営、講師謝礼
雑費	21,285	30,000	年会費振込手数料等、発送作業アルバイト代
予備費	0	850,000	在学生報奨制度の実施、企画準備金、弔事関係経費等
次年度繰越金	788,513	0	
計	1,467,394	1,500,000	

更尽会 2005 年度 会計監査役 (案)

卒業年度	氏 名
平成 3 年度	人 見 満 博
平成 6 年度	伊 藤 哲 也

更 尽 会 会 則

平成 13 年 5 月制定

第 1 章 総 則

(目 的)

第 1 条 本会は、「更尽会」と称し、会員相互の親睦を図るとともに、会員の技術、識見、品格の向上を図ることを目的とする。

(事 業)

第 2 条 本会は、前条の目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 会員名簿の発行
- (2) 会報の発行
- (3) その他目的達成に必要な事業

(会 員)

第 3 条 本会の正会員は、次のとおりとする。

- (1) 茨城大学工学部建設工学科及び都市システム工学科の卒業生
 - (2) 茨城大学大学院工学研究科建設工学専攻及び都市システム工学専攻の修了生
 - (3) 茨城大学大学院理工学研究科都市システム工学専攻の修了生
2. 茨城大学大学院工学研究科及び理工学研究科博士後期課程の修了生で、主指導教官が都市システム工学科の教官であった者、及び本会の目的・事業等に賛同できる者は、本会の準会員とする。
3. 茨城大学工学部建設工学科及び都市システム工学科の教職員及びその職にあった者は、本会の客員会員とする。

第 2 章 役 員

(役 員)

第 4 条 本会の役員として、会長 1 名、副会長 2 名、幹事各学年 2 名を置く。

2. 役員任期は 2 年とし、再任を妨げないものとする。

(幹 事)

第 5 条 幹事は、各学年の会員より推薦し、総会において承認する。

2. 幹事は、幹事会の構成員となる。
3. 幹事は、本会の運営に必要な事務を行う。

(会長及び副会長)

第 6 条 会長及び副会長は、幹事の互選により選任する。

2. 会長は、会務を総理し、本会を代表する。
3. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けた時は、会長が予め指定する副会長がその職務を代理する。

第 3 章 会 議

(総 会)

第 7 条 会員総会は、毎年 1 回会長がこれを召集する。

2. 会長は、必要な場合には、臨時に総会を召集することができる。

(幹事会)

第 8 条 幹事会は、毎年 1 回会長がこれを召集する。

2. 会長は、必要な場合には、臨時に幹事会を召集することができる。

3. 幹事会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 本会の予算及び決算
- (2) 事業計画
- (3) その他本会の運営に関する重要事項

第 4 章 会 計

(収入源)

第 9 条 本会は、正会員及び準会員より徴収する会費、寄付金及びその他の諸収入により運営する。

(会 費)

第 10 条 本会の正会員及び準会員は、年会費として 2,000 円を納付するものとする。

(会計年度)

第 11 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日より 3 月 31 日までとする。

(会計報告)

第 12 条 収支決算は、毎年 1 回これを各会員に報告する。

(会計監査)

第 13 条 会計監査役は、会長が会員のうちから 2 名を推薦し、総会において承認する。

2. 監査役は、本会の会計事務の監査を行うものとする。

第 5 章 雑 則

(会則の改正)

第 14 条 この会則の改正は、総会の議決による。

(委 任)

第 15 条 この会則に定めることのほか、本会の運営に関して必要な事項は、幹事会が定める。

附 則

この会則は、平成 13 年 5 月 12 日から施行する。